

第1学年〇組 道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

- 1 主題名 自主・自立【内容項目 A 自主、自立、自由と責任】
- 2 ねらい 望ましい生活習慣とは何かを考えることを通して、節度を守り、節制に心掛ける生活をしようとする態度を養う。
教材名 「忘れ物」 出典：『新しい道徳1』（東京書籍）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

望ましい生活習慣を身に着けるために、身近な生活の中で誰もが経験していることを取り上げる。他者の非を明らかにし、それを改善するアドバイスができるようになった後、この他者に向けている視線を、自分自身に向けさせることで自分を客観的に見る能力を育てたい。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

全体的には学習活動に積極的な生徒が多く、前向きな雰囲気です。授業に取り組める学級である。1年生で自分を客観視できる生徒は少ない。しかし、登場人物の人物像を捉えさせる学習スキルは、国語科の教科指導等において育成されている。その力を活用してさらに登場人物の非を指摘し、改善点をアドバイスする。その活動を通して、自分を客観視する能力の育成へとつなげていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

タマゴマン・アナゴマン・ダンゴマンの3人は生徒の身近な友だちに酷似している。身近な存在ゆえに、非を明らかにし、改善点をアドバイスするという行為は、日常生活のつながりにも発展させやすい。また、父とおばあちゃんとの関わりなどは、他者との関係が自分自身の生活を向上させることになる具体例になっていて、望ましい生活習慣を身につけるといふねらいを達成するに適した教材である。

(4) 指導方法について

平成27年3月27日の学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科 道徳」となった。それを踏まえて、「特別の教科 道徳」では答えが1つではない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」への変換を図ることを目標としている。

本校では『「読む道徳」から「考え、議論する道徳」の視点に立った授業の創造』という研究課題に2年計画で取り組み、その1年目である。「複数教員による道徳の授業の実施」いわゆるTTを手立てとして考え、議論する道徳への変換を図りたい。TTにより、役割分担をすることで、たくさんの時間、議論をすることができ、議論を深めることができるねらいがある。また、授業を多面的に見ることができ、一人だけの授業では気付かなかった授業の改善点や、生徒の良さにも目を向けることができる考えた。

研究課題をふまえて、11月にアンケートを実施した。本校は道徳が好きな生徒が多く、特に1年生はその割合が多い。友だちの意見や考え方により、考えが深まったり、広がったりする生徒が多く道徳の授業の意義は大きい。しかし、一方で、自分の意見を発言したいと思っている生徒は少なく、発言する生徒が偏っている現状がある。TTを取り入れ、教師の役割を分けることによって、多くの生徒が意見を発表したり、話合いに積極的に参加したりすることができるように助言や手助けをしていくことで、生徒が議論を好きになり、議論が深まると期待して、取り組んでいく。

4 学習指導過程

段階	学習活動 ○主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入 3分	1 忘れ物をしてしまった経験を振り返る。 ①忘れ物をしてしまったことはあるか。	○この前、給食のエプロンを忘れてしまった。	
展開 37分	2 教材を読んで考える。 ○3人のだめな部分とそれぞれどうすれば改善できるのかを考えてみよう。 ①自分は誰に似ているか。また、自分以外の人にアドバイスをしよう。(生徒の意見を聞く。) 3 もう一度教材を読んで考える。 ○おばあちゃんは、なぜそんなに怒ったのだろう。 ①プリントに自分の考えを書こう。 ①考えを発表しよう。 4 望ましい生活習慣を身につけるために必要なことは何かを話し合う。 ○忘れ物をしないためには、どのようなことが大切だろう。 ①プリントに自分の考えを書こう。 ①ホワイトボードを活用しながらグループで話し合おう。 ①グループで話し合ったことを踏まえて、自分の考えを発表しよう。	・タマゴマンは部屋にメモを貼ったからそれを見ればよい。 ・アナゴマンは毎日忘れ物をする上メモ帳を買っていない。持ち物の確認を好きになればよい。 ・ダンゴマンは練習帳を遅れて提出したり、お母さんに声かけを頼んだりするところが良くない。 ・忘れていたことを謝りもせず、「お金ちょうだい。」と言ったから ・お金を出してくれて当然という態度でおばあちゃんにプリントを渡したから。 ・おばあちゃんの気持ちを考えることまで忘れてしまったから。 ・自分で忘れ物をしないように工夫してみる。 ・学級で忘れ物なしキャンペーンをする。	・教材を範読する。 TT T1が質問 T2は板書 ・どんどん質問を出させ、どうすれば改善できるのかという部分を教師と生徒のやり取りの中で深めさせたい。 ・忘れ物をしてしまう傾向が強い生徒に対して十分配慮をする。 ・教材を範読する。 TT T1が質問 T2は板書 ・申込書をやぶったという行動からおばあちゃん的心情を想像させる。 ・お父さんが子どものときに忘れ物をよくしていたことが伝わるように配慮する。 ・お母さんの発言にも触れ、心や態度が大切であるということへの理解を深めさせる。 ・他者との関わりが行動の改善のきっかけとなることを理解させたい。 ・ホワイトボードを活用しながら少人数で話し合い、個々の考えを広げたり深めたりする。 TT T1 T2で分担しグループを回って机間指導質問等して考えを深めさせていく
終末 10分	5 本時のまとめをする。 ①今日の学習の振り返りをプリントに書こう。		☆本時の主題について、自分の日々の行動や過去の体験などを想起し、自分との関わりで考えを深めている。【ワークシート】

5 他の教育活動との関連

事前指導	・学級活動や他の道徳科の授業において、話し合い活動の習慣化
道徳科	・本時「忘れ物」：望ましい生活習慣とは何かを考えることを通して節度を守り、節制に心掛ける生活をしようとする態度を養う。
事後指導	・学校生活の中で提出物のチェックを行い、クラスや個人で気を付けられたことを認めていく。

家庭との連携	・本時の授業内容や生徒の感想を通信で紹介し、家庭でも「望ましい生活習慣」について話題にしてもらう。
--------	---

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・グループ学習において、本時の主題について多面的・多角的に考え話し合い、お互いに考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・本時の主題について、自分の日々の行動や過去の体験などを想起し、自分との関わりで考えを深めている。
- ・望ましい生活習慣を身につけるために必要なことを考え、自主、自立とはどういうことか考えを深めている

7 板書計画

<p>・・・</p> <p>忘れ物をしないためにはどのようなことが大切だろうか？</p>	<p>・・・</p> <p>おばあちゃんは何でそんなに怒ったの だろうか？</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">アドバイス</div> <p>・・・</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">悪い所</div> <p>・・・</p>	<p>望ましい生活習慣 忘れ物</p> <p>タマゴマン</p> <p>アナゴマン</p> <p>ダンゴマン</p>
--	---	---	---	--